



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月4日

上場取引所 東 大

上場会社名 フジッコ株式会社

コード番号 2908 URL <http://www.fujicco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 福井 正一

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営管理本部長

(氏名) 奥平 武則

TEL 078-303-5921

四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	41,520	0.2	3,471	4.3	3,697	4.6	2,178	10.7
24年3月期第3四半期	41,446	2.1	3,327	11.4	3,535	10.0	1,967	7.6

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 2,331百万円 (24.1%) 24年3月期第3四半期 1,878百万円 (11.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	68.03	—
24年3月期第3四半期	61.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	69,682	53,812	77.2
24年3月期	62,798	52,506	83.5

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 53,812百万円 24年3月期 52,444百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
25年3月期	—	15.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,000	3.3	3,650	1.2	3,900	1.2	2,300	9.6	71.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	34,991,521 株	24年3月期	34,991,521 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	2,970,658 株	24年3月期	2,967,628 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	32,022,646 株	24年3月期3Q	32,025,624 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表等	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	9
(1) 販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の減速等を背景として、改善のペースが鈍化し足踏み状態が続きました。

食品業界におきましては、デフレから脱却する兆しが見えず、厳しい状況で推移しました。

このような環境の中、当グループにおきましては、製品カテゴリー毎に市場環境および競争環境を踏まえた施策を実施し、中期経営計画に掲げる成長戦略の実現に向けて取り組みを進めました。将来を見据えた研究開発活動では、カスピ海ヨーグルトのおなか年齢若返り効果の研究に着手し、腸内細菌の健康状態を評価する「おなか年齢」指標の作成に取り掛かりました。

売上高は、昆布製品は前年同四半期を下回りましたが、豆製品は前年同四半期並みで推移し、育成商品である「カスピ海ヨーグルト」「おかず畑」は、健康志向や簡便商品ニーズの高まりを背景に前年同四半期を大きく上回りました。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は415億20百万円（前年同四半期比0.2%増）となりました。

利益面につきましては、生産効率化等による売上原価率の低減により、営業利益は34億71百万円（前年同四半期比4.3%増）、経常利益は36億97百万円（前年同四半期比4.6%増）となりました。四半期純利益は、特別損失として投資有価証券評価損を計上しておりますが、21億78百万円（前年同四半期比10.7%増）となりました。

製品分類別の販売状況は、次のとおりであります。

昆布製品は、値上げを伴う規格変更の影響で第1四半期が大幅減収となり、この取り戻し策として第2四半期に「ふじっ子煮 あさり生姜こんぶ」の投入と首都圏での佃煮TVCM、第3四半期に塩こんぶ・とろろ昆布の増量企画を実施しましたが、十分なカバーができず、前年同四半期に比べて減収となりました。

そう菜製品は、前年同四半期を大きく上回り、製品分類別では、昆布製品に続く2番目の売上規模に成長しました。特に伸長の著しい「おかず畑」は、更なる利用シーンの拡大を図るため、おせちのTVCMに加えて、おせち用途としての訴求を行い、これが市場で受け入れられました。

豆製品は、年間を通じて一番の繁忙期となる12月において、黒豆製品を中心に安定した売上を確保することができ、前年並みとなりました。製品ブランド別では、低価格・甘さ離れ・少容量の市場トレンドにより、「おまめさんレギュラー」が縮小する一方で、「甘さをひかえたおまめさん」や食べ切りサイズの「こだわり煮豆」が伸長する動きとなりました。

デザート製品は、ゼリーやプリン類は苦戦しましたが、「カスピ海ヨーグルトプレーン400g」が堅調に推移し、「善玉菌のチカラ」サプリメントが大きく伸長しましたことにより、前年同四半期を上回りました。カスピ海ヨーグルトについては、11月に東京・名古屋・大阪でフォーラムを開催し、普及と啓蒙の活動を強化しました。

その他製品は、レンジで簡単にバランスの良い食事がとれる「朝のたべるスープ」は好調に推移しましたが、「大豆イソフラボン」、「クロクロ（黒酢黒大豆）」、「鍋つゆ」等の苦戦が響き、前年同四半期に比べて減収となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ68億84百万円増加し、696億82百万円となりました。

資産の部では、流動資産は、前連結会計年度末に比べ45億86百万円増加し、349億31百万円となりました。これは年間を通じて一番の繁忙期となる12月の売上増加により、売掛金が増加したこと等によるものです。固定資産は、前連結会計年度末に比べ22億98百万円増加し、347億51百万円となりました。これは主に北海道工場と鳴尾工場新工場棟の完成が近づき、建設仮勘定が増加したことによるものです。

負債の部では、流動負債は、前連結会計年度末に比べて43億74百万円増加し、128億28百万円となりました。これは北海道工場と鳴尾工場新工場棟の建設に係る未払金の増加や、12月の販売に向けて仕入を増やし、買掛金が増加したこと等によるものです。固定負債は、前連結会計年度末と比べて12億3百万円増加し、30億41百万円となりました。これは主に長期借入金の増加によるものです。

純資産の部では、純資産合計は前連結会計年度末に比べ13億6百万円増加し、538億12百万円となりました。

これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の83.5%から77.2%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当グループを取り巻く事業環境は、依然として厳しい状況が続いておりますが、当期の連結業績は概ね当初（平成24年3月期決算発表時）の予想どおり推移すると見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表等
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,733	15,746
受取手形及び売掛金	8,403	11,851
商品及び製品	747	796
仕掛品	410	391
原材料及び貯蔵品	5,472	5,633
繰延税金資産	335	130
その他	244	385
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	30,345	34,931
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,921	28,804
減価償却累計額	△19,516	△19,855
建物及び構築物(純額)	9,405	8,949
機械装置及び運搬具	19,223	19,233
減価償却累計額	△16,579	△16,798
機械装置及び運搬具(純額)	2,643	2,434
工具、器具及び備品	1,718	1,747
減価償却累計額	△1,452	△1,481
工具、器具及び備品(純額)	265	266
土地	13,588	13,504
建設仮勘定	92	3,292
有形固定資産合計	25,995	28,447
無形固定資産		
ソフトウェア	614	343
その他	186	231
無形固定資産合計	800	575
投資その他の資産		
投資有価証券	4,218	4,288
繰延税金資産	684	585
その他	791	903
貸倒引当金	△38	△49
投資その他の資産合計	5,656	5,728
固定資産合計	32,452	34,751
資産合計	62,798	69,682

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,643	5,028
短期借入金	210	1,462
未払金	2,562	4,942
未払法人税等	839	431
未払消費税等	248	244
賞与引当金	439	109
預り金	285	403
その他	225	206
流動負債合計	8,453	12,828
固定負債		
長期借入金	—	1,260
繰延税金負債	2	2
退職給付引当金	1,222	1,169
役員退職慰労引当金	613	609
固定負債合計	1,838	3,041
負債合計	10,292	15,870
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,566	6,566
資本剰余金	7,302	7,302
利益剰余金	41,684	42,902
自己株式	△3,200	△3,202
株主資本合計	52,353	53,568
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	91	244
その他の包括利益累計額合計	91	244
新株予約権	61	—
純資産合計	52,506	53,812
負債純資産合計	62,798	69,682

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	41,446	41,520
売上原価	25,381	25,056
売上総利益	16,065	16,463
販売費及び一般管理費	12,737	12,992
営業利益	3,327	3,471
営業外収益		
受取利息	4	6
受取配当金	108	110
受取賃貸料	41	58
その他	68	91
営業外収益合計	222	266
営業外費用		
支払利息	9	12
賃貸費用	3	21
その他	0	7
営業外費用合計	13	41
経常利益	3,535	3,697
特別利益		
固定資産処分益	0	8
新株予約権戻入益	0	61
特別利益合計	0	70
特別損失		
固定資産処分損	36	8
投資有価証券評価損	0	170
その他	6	14
特別損失合計	42	193
税金等調整前四半期純利益	3,493	3,574
法人税、住民税及び事業税	1,197	1,173
法人税等調整額	328	222
法人税等合計	1,525	1,396
少数株主損益調整前四半期純利益	1,967	2,178
四半期純利益	1,967	2,178

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,967	2,178
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△88	152
その他の包括利益合計	△88	152
四半期包括利益	1,878	2,331
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,878	2,331
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 販売の状況

(単位：百万円)

製品分類	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年 4月 1日 至平成23年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成24年 4月 1日 至平成24年12月31日)		増減額	(参考) 前連結会計期間 (自平成23年 4月 1日 至平成24年 3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
昆布製品	13,524	32.6%	12,885	31.0%	△638	17,259	32.4%
そう菜製品	9,219	22.3%	10,037	24.2%	817	12,082	22.7%
豆製品	10,035	24.2%	10,016	24.1%	△18	12,979	24.4%
デザート製品	4,475	10.8%	4,562	11.0%	86	5,721	10.7%
その他製品	4,192	10.1%	4,019	9.7%	△172	5,205	9.8%
合計	41,446	100.0%	41,520	100.0%	73	53,247	100.0%

(注) 増減額は、当第3四半期連結累計期間と前第3四半期連結累計期間との比較で表示しております。